



みず 水はどうして切れないの

みず 水はすぐにいろいろな形に変わる

ほとんどの物質は、固体・液体・気体に分けられます。水は、固体（氷）液体（ぶつうの水）気体（水蒸気）、気体液体固体に姿を変えます。

固体の氷は、入れ物に入れても、形は変わりませんが、液体の水は、入れ物に入れると入れ物によって、それぞれ形が変わります。

水は、とても小さい水の分子が、たくさん集まってできています。分子とは、物の性質を失わないで、分けることができる、いちばん小さいついで、顕微鏡でも見るできないほど、小さいものです。

みず 水の分子の運動と、分子どうしの結びつきが弱いため

氷は、分子と分子の間が、おたがいに引きつけ合っていて、形がくずれません。ところが、水の分子は、ぶつう、あちこち自由に動き回っています。液体は、決まった体積をもっていますが、分子が自由に動き回り、決まった形になりません。

また、液体は固体に比べて、分子と分子の結びつきが弱いので、すぐに、形がくずれてしまうのです。

水は切れないのではなく、切ってもすぐに、もとの形にもどってしまうため、切れないように思うのです。（監修・青木 国夫）

